

2/22 (水) の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 1月30日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	宗谷総合振興局海獣被害対策防止連絡会議(第11回)の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>管内の漁業系統団体、市町村、水産試験場及び宗谷総合振興局で構成する「宗谷総合振興局海獣被害防止連絡会議(第11回)」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和5年(2023年)2月22日(水) 13:30～</p> <p>2 場所 北海道宗谷総合振興局 2階2号会議室(Web)</p> <p>3 参集範囲 管内関係漁業協同組合、沿海市町村 北海道漁業協同組合連合会稚内支店 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 稚内水産試験場 宗谷総合振興局関係課(環境生活課、水産課) 北海道水産林務部水産局水産振興課</p> <p>4 内容 (1) 海獣による漁業被害の状況について (2) 海獣による漁業被害対策の推進について (3) 講演</p>		
参考	<p>○トドなどの海獣類は、国際的な希少種として保護されている一方、漁業被害が深刻であり、被害対策は地域の重要な課題となっています。</p> <p>○海獣対策を効率的に進めるため、被害や防止対策の情報を地域全体で共有、共通認識を持つことを目的に平成24年度より当会議を開催しています。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	<p>北海道宗谷総合振興局産業振興部水産課(連絡会議事務局)</p> <p style="text-align: center;">主幹 松川 透</p> <p>TEL ダイヤルイン 0162-33-2943 (内線2601)</p> <p style="text-align: center;">水産振興係長 阿部 剛</p> <p>TEL ダイヤルイン 0162-33-2944 (内線2614)</p>		

## 令和4年度 海獣被害関係補足資料

### 1 漁業被害状況

(単位：千円)

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2	増減比率
管内	トド	586,024	441,983	353,054	358,356	209,565	200,391	△ 9,174	△ 4.4%
	オットセイ	2,911	2,813	2,710	1,663	2,047	2,344	297	14.5%
	アザラシ	62,240	97,985	118,932	52,333	50,383	46,829	△ 3,554	△ 7.1%
	合計	651,175	542,781	474,696	412,352	261,995	249,564	△ 12,431	△ 4.7%
全道	トド	1,597,697	1,178,699	1,006,180	952,638	550,800	749,272	198,472	36.0%
	オットセイ	280,706	127,241	126,760	89,099	59,064	86,446	27,382	46.4%
	アザラシ	261,787	255,454	297,459	142,882	124,194	118,317	△ 5,877	△ 4.7%
	合計	2,140,190	1,561,394	1,430,399	1,184,619	734,058	954,035	219,977	30.0%

- ・ 宗谷管内におけるR3年度の漁業被害額は約2億5千万円で、前年度に比べると約1千2百万円(4.7%)減少しており、H27年度の約6億8千万円をピークに減少傾向にあるが、依然として高い水準となっている。
- ・ トドによる漁業被害額が減少傾向にある一方で、ゴマフアザラシの「周年定着個体」が増加し、漁業被害が増加傾向にあったが、H30をピークに減少傾向にある。(ゴマフアザラシについては道環境生活部で「北海道アザラシ管理計画」を策定)
- ・ 離島周辺ではオットセイの目撃が増加しており、漁具などの直接漁業被害も確認されているが、法の規制などにより、現時点では有効な駆除方法がない。

### 2 被害防止対策

#### ① 駆除事業 (北海道連合海区委員会指示によるとど採捕承認)

■ 駆除実績(トド年：9月～6月)

(単位 承認数：件 駆除数：頭)

駆除年/漁協名	船泊	香深	利尻	稚内	宗谷	猿払村	枝幸	管内計	全道計	枠
R3 承認数	18	5	6	5	3	1	1	39	98	553
トド年 駆除数	88	7	65	0	5	0	3	168	388	
R2 承認数	18	4	6	5	3	1	0	37	96	523
トド年 駆除数	92	10	23	0	25	0	0	150	486	
R1 承認数	19	4	6	5	3	1	0	38	95	591
トド年 駆除数	134	9	40	0	88	2	0	273	584	
R3-R2 承認数	0	1	0	0	0	0	1	2	2	30
駆除数	-4	-3	42	0	-20	0	3	18	-98	

※漁協別駆除数は非公表

- ・ R3トド年における管内のトドの駆除数は168頭で前年に比べ18頭(12%)増加した。
- ・ 増減の大きかった漁協別で見ると、利尻漁協が42頭増加し、宗谷漁協が20頭減少している。
- ・ 近年トドの上陸が集中している弁天島(ピーク時(2017年)6,000頭)では、今年2月に最大で2,158頭の上陸が確認され、前年まで少なく推移していたが多くなった。主な要因として考えられるのは、イワシの来遊が多く餌環境が良かったため、上陸頭数が増えたものと考えられる。(稚内水試からの情報)
- ・ 宗谷管内は「有害生物被害防止総合対策事業(水産庁所管)」により駆除費用を支援している。本来は離島のみ対象であるが、離島の駆除との連携(離島連携)により、稚内市(宗谷漁協、稚内漁協)も同様に補助対象となっている。

事業名	漁協名	予算額	事業内容(駆除)			備考
			予定回数	6月まで	10月以降	
有害生物	利尻	2,221万円	210回	110回	100回	
	香深	332万円	35回	12回	23回	
	船泊	2,278万円	245回	90回	155回	
	宗谷	201万円	13回	13回	0回	離島連携
	稚内	141万円	15回	0回	15回	"
	合計	5,173万円	518回	225回	293回	

② 追い払い事業

- ・ 海獣による漁具被害を防止するために、**轟音玉及び小粒散弾を使用した威嚇による追い払い**を実施。
- ・ 離島は「**有害生物被害防止総合対策事業**」、稚内・宗谷漁協は同事業と「**鳥獣被害防止総合対策事業**」(農水省所管)の両事業により支援している。

事業名	漁協名	予算額	事業内容(追い払い)			備考
			予定回数	6月まで	10月以降	
有害生物	香深	103万円	12回	12回	0回	
	船泊	167万円	9回	9回	0回	
	宗谷	23万円	4回	4回	0回	離島連携
	稚内	202万円	22回	12回	10回	"
	小計	495万円	47回	37回	10回	
鳥獣被害	宗谷	62万円	4回	0回	4回	
	稚内	132万円	20回	0回	20回	
	小計	194万円	24回	0回	24回	
合計		689万円	71回	37回	34回	

③ ハンター育成事業

- ・ 「**とど被害防止対策事業(漁業者ハンター育成事業)**」(道単事業)により漁業者、漁協関係者の**猟銃取得までにかかる初期費用**を支援している。
- ・ 地域間でハンターを相互に派遣できる体制づくりを構築することを目的として、**全道のハンター名簿を整備**している。(R4年6月時点で漁業者ハンター89名、陸ハンター79名、計168名が登載)

■ 組合別ハンター数(R4年6月現在)

	船泊	香深	利尻	稚内	宗谷	猿払村	枝幸	総数	備考
総数	18名	5名	9名	5名	10名	3名	3人	53名	
漁業者	18名	5名	7名	5名	10名	1名	-	46名	育成事業:R2 1名、H30 1名、H29 7名、H28 8名、H27 1名、H26 1名
うち育成事業	(3名)	(2名)	(2名)	(2名)	(10名)	-	-	(19名)	
非漁業者	-	-	2名	-	-	2名	3名	7名	